

SELENE-2/VLBI 電波源の開発状況 Recent status of SELENE-2/VLBI instrument

菊池 冬彦^{1*}, 松本 晃治¹, 岩田 隆浩², 花田 英夫¹, 鶴田 誠一¹, 浅利一善¹, 河野裕介³, 山田 竜平¹, 石原 吉明¹, 佐々木 晶¹, 鎌田 俊一⁴, Sander Goossens⁵

KIKUCHI, Fuyuhiko^{1*}, MATSUMOTO, Koji¹, IWATA, Takahiro², HANADA, Hideo¹, Seitu Tsuruta¹, Kazuyoshi Asari¹, Yusuke Kono³, YAMADA, Ryuhei¹, ISHIHARA, Yoshiaki¹, SASAKI, Sho¹, KAMATA, Shunichi⁴, Sander Goossens⁵

¹ 国立天文台 RISE 月探査プロジェクト, ² 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部, ³ 国立天文台水沢 VLBI 観測所, ⁴ 東京大学, ⁵ NASA/GSFC

¹RISE Project, NAOJ, ²ISAS, JAXA, ³Mizusawa VLBI Observatory, ⁴University of Tokyo, ⁵NASA/GSFC

次期月着陸探査計画 SELENE-2 へと提案している VLBI 電波源では、月周回衛星と月面設置機器に VLBI 用電波源を搭載し、同一ビーム VLBI という手法を用いて周回衛星の高精度位置決定・月重力場モデルの改良を行う。本講演では各種の開発課題に関する検討状況について報告する。

キーワード: セレーネ 2, 内部構造, 超長基線電波干渉計

Keywords: selene2, internal structure, VLBI